

令和8年度 ひとはくの主な事業

令和8年2月

1. 展示事業

館内で開催する主な企画展は下記のとおり。

名称	期間	概要
企画展 DNAってすごい！～ 自然史研究の大革 命～	R8. 2. 11～5. 31	名前は聞くけどよく知らない。 DNAってそんな存在ではないでし ょうか。DNAってなあに？から初 めて、DNAの分析でわかった生物 の意外な真実や、最新の分析技術 を紹介します。
企画展 ウラとオモテの世 界	R8. 7. 18～R9. 1. 11	モノには、裏と表があります。モ ノゴトにも裏と表があります。表 裏は常に一体で、それぞれが連続 し、つながる存在です。人にも、 自然にも、人と自然にも、表と裏 の関係性があります。自分が知っ てる表の面と、意外と知らないそ の裏面を知ると、見える世界が広 がります。人と自然のオモテとウ ラ、地域社会のオモテとウラ、 あなたの身の回りのオモテとウ ラ、オモテとウラに想いを馳せ て、人と自然のつながりを考える 企画展です。
微化石展一顕微鏡 で覗く小さな化石 の世界	R9. 2. 11～5. 30	化石というと、恐竜やアンモナイ トなどを思い浮かべる方が多い と思いますが、今回は顕微鏡を使 わないと見えないような小さな 化石を沢山紹介します。

2. セミナー事業

1) 事前申込制の専門的なセミナーとして下記のセミナーを実施する(全 145 講座)。

分野	セミナーの例	講座数
地球科学	恐竜だけじゃない！ひょうごの石の話、アンモナイトの断面標本を作ろう、岩石をつくる鉱物を観察しよう、石ころの見わけ方入門、化石を調べよう講座、化石の見分け方講座、化石を見つけよう！講座、丹波竜を作ろう！、A205 古生物学者への道、脊椎動物化石の研究方法(基礎分類編)、主竜類の進化Ⅰ～ワニ・恐竜・鳥類のきた道～(中生代編)、主竜類の進化Ⅱ～ワニ・恐竜・鳥類のきた道～(新生代編)、篠山層群の地層観察会、神戸層群の植物化石を調べよう、電子顕微鏡で微化石を観察しよう地質ハイキングー六甲山から見る大阪平野ー、微化石の世界ー地球科学を切り拓いてきたマイクロ生物たちー、化石でたどる地球のれきし、恐竜化石の探し方ー大地が教えてくれる化石産地のヒントー、なぜ化石はこの岩石にあるー粒度表で考える堆積岩のひみつー、化石発掘体験セミナー	28 講座
植物	送粉昆虫との相互作用による花の進化的変化、二次的に有性生殖をやめた無配生殖シダ植物の種間交雑を通じた多様化、武田尾周辺に生育するシダ植物の観察、武田尾溪谷の植物を観察しよう、野生植物の現状と絶滅要因、神鍋山の植物を観察しよう、ひょうごの自然林、熱帯雨林について学ぼう、六甲山紅葉谷 春の植物・植生ウォッチング、植生の調べ方 野外観察と調査実習、ジーンファーム見学会 博物館における野生植物の域外保全の取組みについて、芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る(4月)、再度公園周辺の樹林で多様性を知る(春)、シダの標本づくり、猪名川町多田銀山のシダを見る、ちいさな押し花標本をつくってみよう！(春編)、草原の担い手養成講座、生物多様性に配慮した地域性種苗による緑化のススメ、植物観察会(春日山：旧柳生街道)、植物観察会(箕面溪谷の植物)、植物観察会(初夏の的形海岸)、物観察会(有馬富士公園の雑木林)、植物観察会(武田尾)、植物観察会(大住寺湿原のサギソウ)、植物観察会(ため池の植物：鴨池)、植物観察会(赤穂のノジギク)、カヤツリグサ科の見分け方、淡路の緑地で植物観察会・同定に挑戦、ちいさな押し花標本をつくってみよう！(秋編)	29 講座
昆虫(節足動物)	昆虫標本づくり教室 春・秋、スズメバチ講座ーその魅力と危険性ー、みんなも昆虫調査員！、おとなの昆虫教室、赤穂海浜公園で昆虫かんさつ	6 講座
動物と生態系	ダンゴムシを育てよう、周期ゼミ(素数ゼミ)のナゾを解く、クマムシの観察、ニキビダニを探そう、ネコハエトリのハエトリ相撲、兵庫の身近な鳥について学ぼう！コウノトリ編、兵庫の身近な鳥について学ぼう！	20 講座

	ケリ編、動物行動学者の博物館資料活用法（収蔵庫ツアー付き）、人間と動物行動学、メダカの透明標本作製、大沢町で希少淡水魚の観察、川の水生昆虫観察会（住吉川編）、二枚貝の解剖、香美町 海の生物観察会、イカの解剖、ゴキブリの解剖、ゴキリウム入門：食材性ゴキブリの飼育方法、研究テーマ設定の技術、行動生態学入門、細密画講座	
環境と地域づくり	おうちでコーヒーを焙煎しよう！ 春の部・秋の部、秘蔵資料にみる人と自然 ～妖怪伝承～、光るウミホタルをつかまえよう、秘蔵資料にみる人と自然 ～日本庭園と石～、合意形成学入門、地域の深読み講座「赤穂・伊和都比売神社周辺の自然と文化」、神社のみかた・歩きかた「生田神社の来歴から災害の痕跡をみる」、ことばのウラオモテー合作俳句ー、災害のウラオモテー日常と非常ー、景色のウラオモテー景色を支えるー、移動のウラオモテー音速旅行ー、ふしぎのウラオモテー哲学対話ー、絵図や古地図を片手にぶらり。今昔まちあるき【伊丹】	14 講座
その他・複合	ひとはくキャンプ in 淡路島 2026、ひとはくと但馬で夏休み、大学でどんなふうに自然を学べるの？ 研究員が中高生の進路の悩みに答えます、Excelでひも解く進化のしくみー進化生物学入門ー、プラスチック封入標本をつくろう、ピカピカ泥だんごを作ろう！、兵庫県のいろいろな生き物～タンポポ・ダンゴムシ・カタツムリなど、タンガニイカ湖での調査、神社のみかた・歩きかた「理論と方法の座学編」、行動研究入門、三田周辺の地層と化石？ 植物化石の仲間分けにチャレンジ、里山の植物・植生観察、新種はどのように発見されるのか～分類学者の研究について～、ニホンジカによる生物多様性の喪失	14 講座
連携活動グループセミナー	春のコケ植物観察会1（道場）、春のコケ植物観察会2（有馬富士公園）、夏のキノコ観察（一庫公園）、秋のキノコ観察（有馬富士公園）、秋のコケ植物観察会（武田尾）、家族で蜂蜜しぼり、ミツバチのうんちく、ハチ北高原コケ観察会（1泊2日）、ハチ北秋のキノコ・木の実ツアー（1泊2日）、藍の生葉染め、月のクレーターも見える天体望遠鏡の工作、“秋に咲く山野草の寄せ植え作り”、夏の山野草の庭巡り、コケダマ作り、Scratchでゲームをつくろう！	16 講座

教職員・指導者セミナー	ピカピカ泥だんごの作り方、身近な里山の樹木を見分ける、身近な公園を使った探求学習プログラムづくり～多様な視点から考えるサステナブルな社会～、川の水生昆虫調べと授業への活用、小学校の授業に役立つ星の話、初めての生物統計学、動画編集と教材づくり、動物進化の物語～進化を扱う授業の工夫①～、動物進化の物語～進化を扱う授業の工夫②～、ひょうごの化石、生物進化という考え方、水の中の小さな生物、自慢できる自然観察、デンデンムシとダンゴムシ、小学校生活科・幼保の先生向け「正しい虫の扱い方」、人間と動物行動学、学外活動における危険生物とその対策、小さな子どもの指導者向け 身近な植物観察の仕方	18 講座
-------------	--	-------

2) その他のセミナー

名称	概要	講座数
特注セミナー	来館団体向けを対象に、相談に応じて実施。	128 講座
オープンセミナー	来館者を対象に、当日参加が可能な小規模なセミナーを随時開催。	135 講座

3. イベント等

名称	開催日	内容
Kidsサンデー	毎月第1日曜日（休館中の1月、2月を除く）	小さな子どもたちにも楽しめる自然・環境に関する様々なプログラムを実施。
共生のひろば	R9. 2. 11	将来の生涯学習や地域環境保全活動の担い手となるべき人材（地域研究員）を養成し、それらの発表と交流の場として開催。

4. アウトリーチ活動

移動博物館車「ゆめはく」を活用しながら、幼稚園・保育所等を訪問するKids(キッズ)キャラバン、小学校などを訪問する学校キャラバン、公園・公民館などを訪問する一般キャラバンを県内数十カ所で実施する予定。

5. 篠山層群化石を活用した地域活性化を目指す人材育成システム構築事業

化石調査・研究過程で必要な発掘及び剖出技術者の育成を図るとともに、地域人材を活用したボランティア等の人材が安定的に育成できる体制づくりを推進する。

1) 石割調査ボランティアの育成

5月、11月に2週間程度の調査を実施予定。令和7年度実績（新規登録15名、累計115名）。

2) 剖出ボランティアの育成

説明会年数回実施予定。令和7年度新規登録6名、累計39名。令和7年度実績（活動累計人数・時間173名・450時間）。

3) 化石専門指導員の育成

認定試験を複数回実施予定。令和7年度実績（累計26名）。

6. 三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営事業

三田市からの委託事業。乳幼児から小学生を主対象とした展示や学習プログラムを企画し、運営する。令和7年度は施設の改修工事で約1ヶ月間休館したが、毎週末のイベントや遊べる展示によりリピーターが定着し前年と同程度の来館者数となる見込みである。令和8年度は、通常のイベントは維持しながら、開館25周年となるため記念事業を実施する予定である。連続講座「ジュニアスタッフ」の修了生であるユーススタッフ（中学生から大学生）の活躍の場の拡大にも取り組んでいく。

7. ふるさと兵庫こども環境体験推進事業（ひょうごエコロコプロジェクト）

兵庫県環境政策課からの分任事業。県内の全幼稚園・保育所・認定こども園等を対象に、乳幼児期の環境学習を支援するため、体験型プログラムや人材育成を実施する。令和8年度は、県内200以上の園に訪問してこどもたちへの体験や園の先生向けの研修を行うほか、地域で持続可能な環境学習を実践するための園の先生や学生のネットワークづくりを目的としたイベント機会や、地域で共用する貸出グッズの普及など、事業のより一層の浸透を図る。

8. 地域連携セミナーの推進（兵庫まるごとひとく）

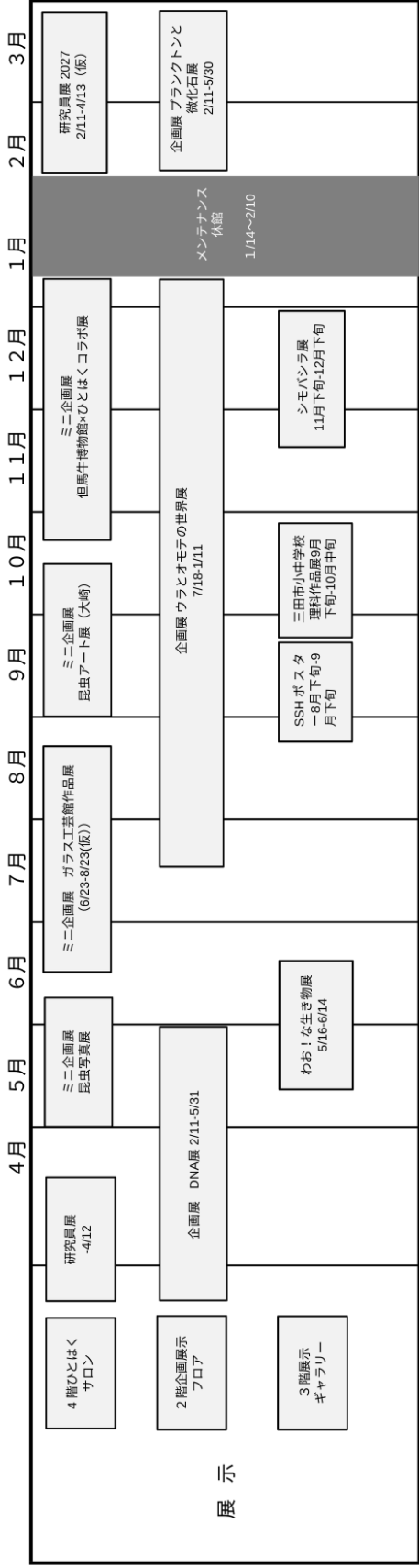
令和5～9年度の重点事業である地域連携事業の一環として、県内各地の施設や機関などと協働で「地域連携セミナー」（原則、参加費無料）を実施する。令和8年度は、前年度に引き続き南あわじ市で3件のセミナーを計画している。セミナー等の実施を通して、遠方のため直接来館するのが困難な地域の住民へ

の博物館サービスの提供や、地域の拠点施設などとの連携の開拓・強化を図る。

9. ひとつはく将来ビジョンの実現に向けた取り組み

博物館エントランスホール周辺のオープンスペースでは、遠方からの来館者だけでなく近隣に居住する市民も気軽に参加・交流・滞留できる「そとはく」などの屋外プログラムが実施されている。こうしたプログラムを充実させ、フラワータウンの活性化を目指すとともに、地域に貢献するこれからの新たな博物館施設の在り方を模索するため、令和6年度よりソフトプログラム「ひとつはく青空実験室ナンデナン??」を同オープンスペースやコレクションナリウムで実施している。また令和7年度より、隣接するエキマエアキチにおいて、放課後の子どもの居場所づくりプロジェクトとして、市民グループの方と連携して月1回プログラムを実施している。令和8年度もこれらを実施するとともに、事業内容の継続・発展を図るため、外部助成金の申請を計画している。

令和8年度 主な展示スケジュール (予定)



その他

催しの予定

プレミアム芸術デー (7月・10日程度?)
ミュージアムナイト (上記期間中の1日)